

新型コロナウイルス感染症予防接種についての説明書

この予防接種は、定期予防接種として行われ、努力義務はありません。

65 歳以上の高齢者や持病のある人が新型コロナウイルス感染症にかかると、重症化しやすくなります。予防接種は、重症化防止に有効です。

個人予防やまん延防止を目的に、新型コロナウイルス感染症の予防接種を実施していますので、予防接種の効果や副反応について理解していただいた上で、本人の判断により接種してください。



予防接種を受ける前に、必ずお読みください！



新型コロナワクチン Q&A ↑
(厚生労働省ホームページ)

(1) 一般的注意

- ① 気にかかることやわからないことがあれば、予防接種を受ける前に、担当の医師に相談しましょう。十分に納得できない場合には、接種は見合わせましょう。
- ② 予診票は、予防接種の可否を決める大切な情報です。接種を受ける本人が責任を持って記入し、正しい情報を接種する医師に伝えてください。

(2) 予防接種を受けることができない人

- ① 接種当日、体温が37.5度以上で明らかに発熱のある人
- ② 重篤な急性の病気にかかっている人
- ③ ワクチンの成分に対し、アナフィラキシーなどの重度の過敏症（全身の皮膚・粘膜症状、喘鳴、呼吸困難、頻脈、血圧低下等）の既往歴のある人
- ④ 上記以外で、予防接種を行うことが不適当な状態にある人

(3) 予防接種を受ける際に、担当医師とよく相談をしないといけない人

- ① 心臓、腎臓、肝臓、血液の病気等の基礎疾患のある人
- ② 過去に予防接種を受けて、接種後2日以内に発熱や全身性の発疹などのアレルギーが疑われる症状がでた人
- ③ 過去にけいれんを起こしたことがある人
- ④ 過去に免疫不全の診断を受けた人、近親者に先天性免疫不全症の人がいる人
- ⑤ ワクチンの成分に対して、アレルギーが起こる恐れがある人
- ⑥ 抗凝固療法を受けている人、血小板減少症または凝固障害のある人

予防接種を受けられない場合

- 接種医の説明を十分聞いたうえで、本人が接種を希望しなかった場合
- 家族やかかりつけ医の協力を得ても、本人の意思が確認できなかった場合
- 当日の身体状況などにより診察で問題があった場合

裏面も必ずお読みください



予防接種を受けた後に、必ずお読みください！

(1) 予防接種を受けた後の一般的注意事項

- ① 予防接種を受けた後約30分間は、急な副反応が起こることがあります。医師（医療機関）とすぐに連絡を取れるようにしておきましょう。
- ② 入浴は差し支えありませんが、注射した部位を強くこすことは避け、清潔を保ちましょう。
- ③ 接種当日はいつもの生活をしてかまいませんが、激しい運動や過度の飲酒などは控えましょう。

(2) 新型コロナウイルス感染症予防接種後の副反応

接種後に接種部位の痛みや倦怠感、頭痛、発熱等、様々な症状が確認されていますが、ほとんどが軽度又は中等度であり、現時点で得られている情報からは、安全性に重大な懸念は認められていないと判断されています。接種後数日の間に、胸痛、息切れ、ぐったりするなどの症状があった場合は医療機関の受診が必要です。

(3) 副反応が起こった場合

新型コロナワクチン接種後、副反応を疑う症状で医療機関を受診したい場合、まずは身近な医療機関や、ご自身が接種を受けた医療機関に受診、相談してください。医師が新型コロナウイルス感染症の予防接種後の副反応を診断した場合に、医師は直接独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）へ報告書を提出します。また、必要に応じて、被接種者から報告書を提出する場合があります。

また、予防接種によって重篤な副反応が発生した場合は、医療費及び医療手当等、予防接種法の定期予防接種に準じた一定の給付を行う救済制度（予防接種健康被害救済制度）があります。

予防接種健康被害救済制度⇒
（厚生労働省ホームページ）



《お問い合わせ先》

浜田市役所	健康医療対策課	健康づくり係	TEL 25-9311
金城支所	市民福祉課	健康福祉係	TEL 42-1235
旭支所	市民福祉課	健康福祉係	TEL 45-1435
弥栄支所	市民福祉課	健康福祉係	TEL 48-2656
三隅支所	市民福祉課	健康福祉係	TEL 32-2806